

第3回 白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会

令和元年12月12日(木) 開催

「白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会」では、自宅での療養が必要になっても、認知症になっても、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしが続けられることを目指して、医療・介護職、住民代表、警察・消防等の委員が、様々な課題の解決に向けた検討を行っています。協議会の活動詳細および議事録については、市ホームページにてご覧いただけます。

●● 第3回協議会の主な内容 ●●

・認知症初期集中支援チーム上半期の実績報告

チームの活動は2年目を迎え、初年度より実績は増えましたが、当初の見込みを下回っている状況です。ケースの紹介元となる医師やケアマネジャーへの周知が十分ではないことから、チームの取組みを紹介する事例集を作成し、配布する予定です。

・医療と介護の情報共有ICTシステム検討ワーキングの報告

在宅療養者を支援する多職種間情報共有のためのICTシステム導入について検討するワーキングを3回開催(8・10・11月)しました。ICT導入ありきではなく、必要性から検討した結果、導入していく方針にまとまりました。導入時期等の詳細については、今後検討していきます。

・第2回しろい在宅医療フォーラムの報告 令和元年12月8日(日)開催 参加者101名



森谷医師による講演



寸劇「人生会議」



相談・展示コーナー

課題別ワーキング活動報告

在宅医療・ 救急医療連携

介護施設や自宅における救急時、看取り対応の課題と対策について検討しています。また、救急医療情報キットの普及対策についても検討しています。

多職種連携 研修企画

10月に研修会を開催しました。テーマは、「多職種で支える入退院時支援」。4か所の病院のソーシャルワーカーに入退院時支援の取組みを報告して頂きました。

市民啓発

しろい在宅医療フォーラムの企画、寸劇「人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)」のキャストとして劇の練習に取り組みました。

入退院時連携

「白井市入退院時連携ルールBOOK」の周知方法と、ルールBOOKを活用して連携が図りやすくなったか評価するための方法を検討しました。

認知症対策

認知症の介護者を対象にした「らくらく介護教室」(11月)の開催、認知症周知啓発の寸劇を「まちサポ交流DAYステージ」(11月)で披露しました。